

秋田県の豪雨災害に係る被災地支援について

弘前市では、昨年度の大雨で被災した新和地区やりんご園地の復旧に際し、県内外のたくさんのボランティアの方々に支援していただきました。

この度の7月の大雨では、秋田県において甚大な被害を受けられた方が多数おられ、今まさに困っている方々に対し、当市が受けた支援を「恩送り」するため、被災地支援にあたる市民ボランティアを派遣することといたしました。

まずは、県外からの災害ボランティアを受け付けていた五城目町と秋田市へのボランティア派遣を想定し、7月22日（土）に現地調査と災害ボランティア活動を兼ねて、職員2名と弘前市社会福祉協議会の災害ボランティアにあらかじめ登録している13名を五城目町に派遣いたしました。

現地調査の結果、両自治体とも早急な支援が必要であったことから、7月29日（土）には五城目町、7月30日（日）と8月8日（火）には秋田市で活動することとして市民ボランティアを募集したところ、29日は31人、30日には24人、8月8日には平日ながら20人の方々にご参加いただき、被災地に派遣することができました。

現地では、いずれの日も厳しい日差しで、かなりの暑さの中、被災ゴミの廃棄や家の中等の泥出しなどといった作業に従事していただきました。

ご協力いただいたボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。



秋田市での活動



五城目町での活動

7月25日、26日 一日体験ボランティアを実施しました!!

・一日体験ボランティア事業とは

ボランティア活動の普及啓発を図るため、ボランティアに興味がある、ボランティアをしてみたいと考えている市民や学生に、ボランティア活動の場を提供し、ボランティア活動を始めるきっかけづくりとするものです。



・当日の様子を紹介します

令和5年度第2回一日体験ボランティア事業は、高校生9名がボランティアとして参加し、令和5年7月25日と26日にヒロロで行われた「おもしろ発電・工作実験室～なつやすみパワーアップ教室 in ヒロロ～」参加者の工作補助等のお手伝いをしました。

子どもたちと同じ目線でサポートしています。



説明書を見ながら、子どもたちに一生懸命教えています。



子どもたち以上に？楽しそうです。



実験大成功!!最後はみんなで記念撮影です。



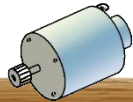
一日体験ボランティア参加者の感想を紹介します！

今回、体験ボランティアに参加して、ふだん関わることが少ない小学生と一緒に工作をできてとても楽しかった。また、今まで自分でも知らなかった振動発電について学ぶことができて、とても良い機会になりました。他のボランティアにも参加してみたいと思いました。

小学生も私も風車を作るのは初めてだったので、同じ目線で取り組むことができました。また、小学生と会話できてコミュニケーションの仕方を学びました。これからの活動に生かそうと思います。



子どもたちと触れ合う機会があまりないので、とても新鮮で楽しかった。何を話したらいいかなど、コミュニケーションを取るために考えることで、コミュニケーション能力を高めることができたと思います。またやらせていただきたいです。

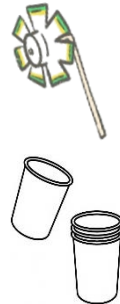


初めてのボランティアでも緊張しましたが、周りの雰囲気があったので、楽しくボランティアに参加することができました。ボランティアを通して、たくさんの人とコミュニケーションを取り、交流ができて良かった。これからも積極的にボランティアに参加していきたいです。



今日参加してみても、ふだんあまり関わることがない小学生と、たくさんコミュニケーションを取れたし、久しぶりにモーターを使った工作をして、とても楽しかった。それと、風力発電の工作でたくさん学べたことだったので、良い経験になったと思いました。

子どもを相手にするボランティアは初めてだったが、自分も笑顔で接することができ、子どもたちも途中から心を開き、いろんなことを話してくれてうれしかった。また、自分も知らなかった情報を知ることができ、参加して良かったと思った。



ふだんなかなか接することがない小学生の子どもたちと接することができて良かった。2日間参加したが、子どもたちの中には、私のことを覚えててくれて、話しかけにきてくれたり、手を振ってくれたりした子もいてうれしかった。また子どもと関われるボランティアがあったら、参加してみたいと思った。

初めてボランティア活動に参加したけど、たくさん子どもたちと話することができたし、知らなかった話も聞くことができたので良かった。また、ボランティアに参加できる機会があったら参加したいです。



今回初めてボランティア活動に参加して、最初は子どもたちの接し方とか不安がありましたが、作業していく中で、コミュニケーションの取り方や臨機応変に対応することなど、たくさんことを学ぶことができて、とても良い機会になりました。

次回もこのようなボランティア活動に参加したいと思いました。



8月31日、9月14日 ボランティア講座を開催しました！

ひろさきボランティアセンターでは、市民のボランティアへの興味・関心を高め、ボランティア活動の参加のきっかけとなるようボランティア講座を開催しています。

今回は、弘前大学大学院保健学研究科准教授の^{おおばひかる}大庭 輝 氏を講師に招き、ボランティア活動で活用できるコミュニケーション技術についての講義とワークショップを、基礎編（8/31）と実践編（9/14）の二回に分けて開催しました。

次回は、11月6日と11月20日にボランティアのニーズについての講座を開催する予定ですので、ボランティアに興味のある方のご参加お待ちしております。参加希望の方は、当センターまでご連絡を！（TEL：38-5595）詳しくは右側のQRコードからもお覧になれます。



豆知識

梨

本県では秋の味覚と言えれば生産量日本一を誇るリンゴが最たるものですが、時期を同じくして出回る果樹である、梨。

大きく分けて日本に流通しているものは4種類ほどあります。和梨（青梨・赤梨）、洋ナシ、中国梨。

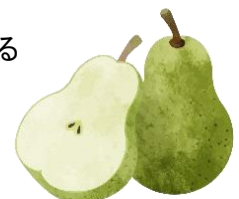
青梨はご存じ二十一世紀梨が有名。赤梨で有名な所では幸水や豊水など。和梨は丸型でシャリシャリとした食感が特徴的。

洋ナシは知名度の高さではラフランス、ルレクチェ。古くは缶詰に使われていたパートレットがあり、ひょうたんのような形に和梨とは違った香りが印象的です。

中国梨は洋ナシと同じくひょうたん型ではありますが、食感は和梨に近く品種としては千両梨、鴨梨などがあります。

耐寒性は強く、マイナス20度くらいまで耐えられるため、リンゴ園に植えている方も見受けられます。

品種で特徴があり好みも分かれるため、好きな物を植えてみるのもいかが？



<制作>市民ボランティアスタッフ <制作協力>ひろさきボランティアセンター
〒036-8003 弘前市大字駅前町9番地20 ヒロロ3F ヒロロスクエア内
TEL:38-5595 FAX:36-1822 H P:www.city.hirosaki.aomori.jp/volunteershien/
情報紙についての意見・感想をお待ちしております。